

麻薬おとり捜査とある村長の死

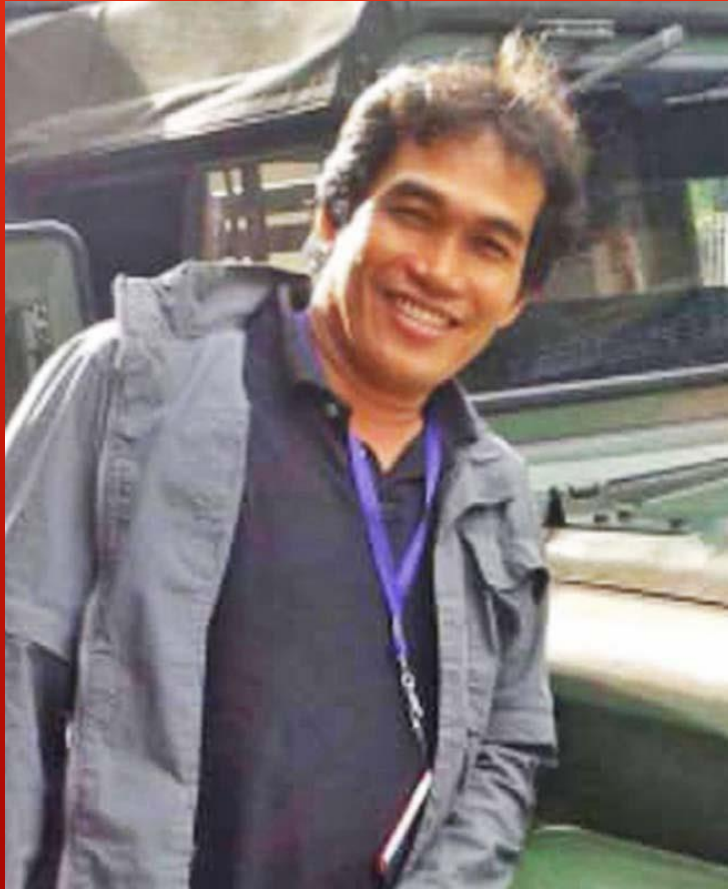
親愛なる友人ジョニーの殺害と進まないコロナ禍での調査

ジョナサン・ウランダイ牧師

(メソジスト教会、ミンダナオ民衆弁護士連盟)

通訳・翻訳 石井正子 (立教大学)

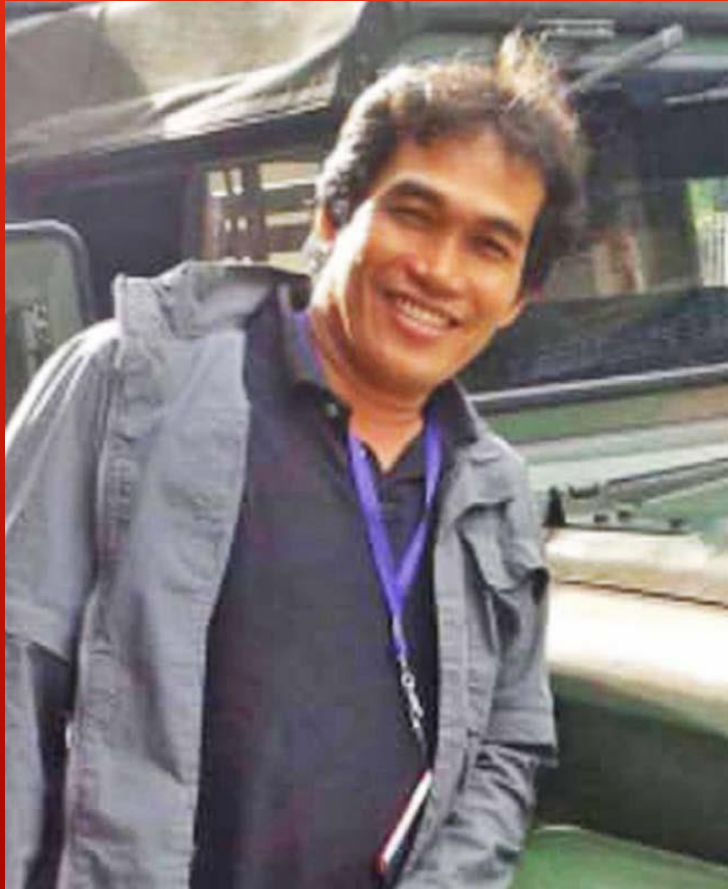
2020年5月29日の悲劇



サランガニ州
アラベル町カワス村

ジョニー村長の虐殺

正義の追求



修正を加えた、
一般的なコミュニティ隔離措置
(MGCQ : Modified General
Community Quarantine) 下の
サラングニ州

先が見えないジョニー村長の正義の回復



Regional Inter-Agency
Task Force on Emerging
Infectious Diseases

- 一般市民の「移動の自由」が制限されている
- サランガニ州アラベル町の住民でなければ、出身村からの健康診断書とフィリピン警察からの移動許可書を取得しなければならない
- 住民以外は24時間以上、滞在することは許されない

先が見えないジョニー村長の正義の回復



書類の取得の
ために、
最低2日、
最低500ペソ
(約1100円)
かかる

先が見えないジョニー村長の正義の回復

1. 厳しい（自治体の）境界の管理政策
2. 限られた公共交通手段
3. 自家用車であっても乗車人数が限られる

**AREAS UNDER
MODIFIED GENERAL
COMMUNITY QUARANTINE
STARTING MAY 16, 2020**

- Region I (Ilocos Region)
 - *Ilocos Norte
 - *La Union
 - *Pangasinan
 - *Dagupan City
- Region IV-B (Mimaropa)
- Region V (Bicol Region)
 - *Albay
 - *Legazpi City
- Region VI (Western Visayas)
- Region VIII (Eastern Visayas)
- Region X (Northern Mindanao)
- Region XII (Soccsksargen)
- BARMM

**may change depending on review by May 14*

Source: Palace spokesperson Harry Roque

先が見えないジョニー村長の正義の回復



遅く、先延ばしされる警察の捜査と
事後活動

私たちは正義を主張しつづける

2020年6月18日、ジョニー村長を忘れず、彼が生きた証に敬意を表すために、サランガニ州アラベル町カワス村で宗教と宗派の違いを超えた合同の活動を行った

この活動が、ひそやかな独立した調査への第一歩となった...



私たちは正義を主張しつづける

宗教・宗派を超えた活動の成果:

1. 友人の輪や人権活動家による
独立した調査の開始
2. 証言者してくれそうな人物の
特定
3. インタビュー、証言、供述書
作成の計画が立てられた



私たちは正義を主張しつづける

宗教・宗派を超えた活動の成果:

1. 友人の輪や人権活動家による



しかし、目撃候補者が
身の危険を感じて証言をせず、
実現しなかった

2. インタビュー、証言、供述書
作成の計画が立てられた



先が見えないジョニー村長の正義の回復



フィリピン国家警察の3つの視点:

1. 漁民のあいだの土地争い
2. 社会向上プログラム配布を巡るトラブル
3. 政治がらみ

先が見えないジョニー村長の正義の回復



フィリピン国家警察

1. 誰かを特定する直接の証拠にたどり着かない...
2. 目撃者が表に出てこない...



先が見えないジョニー村長の正義の回復

第XII地域人権委員会

人権委員会の自発的な調査にもとづいた決議書には、殺害の目撃者の語りと、ジョニー村長の妻がフィリピン国家警察の捜査結果に同意しなかったことが記されている



**私たちはジョニー・パトリシオ・セロミネス氏の
超法規的殺害に対して
正義の回復を叫び、主張しつづける**



通訳の誤りのお詫び

- ▶ 当日の通訳に以下の誤りがございました。たいへん申し訳ございませんでした。

石井正子

- ▶ MGCQ

- ▶ 通訳の誤り：修正を加えた、強化されたコミュニティー隔離措置
- ▶ 正しくは：修正を加えた、一般的なコミュニティー隔離措置

- ▶ Bureau of Costom

- ▶ 通訳の誤り：入管
- ▶ 正しくは：税関